株式情報／会社の概要

株式の状況
（2020年12月31日現在）

発行可能株式総数	73,600,000株
発行済株式の総数（自己株式2,504,208株を除く）	19,795,992株
株主数	6,692名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
栗　山　博　司	1,492	7.5
NOK株式会社	1,095	5.5
クリエイト合同会社	600	3.0
クリヤマホールディングス従業員持株会	570	2.8
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	528	2.6
株式会社三菱UFJ銀行	491	2.4
株式会社オーハシテクニカ	400	2.0
タイガースポリマー株式会社	386	1.9
イーグル工業株式会社	360	1.8
東京ファブリック工業株式会社	305	1.5

（注）1.持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2.持株数については、千株未満を切り捨てて表示しております。
3.持株比率については、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。
4.自己株式については、上記大株主から除いております。

株式分布状況
（2020年12月31日現在）

会社概要
（2020年12月31日現在）

社　　名	クリヤマホールディングス株式会社
英文社名	KURIYAMA HOLDINGS CORPORATION
資本金	7億8,371万6,600円
創　　業	1939年4月5日
設　　立	1940年12月21日
従業員数	29名（連結1,141名）

役員
（2021年3月25日現在）

代表取締役CEO　社長執行役員	能　勢　広　宣
取締役　常務執行役員	小　貫　成　彦
取締役	大　村　暢　彦
取締役監査等委員	宮　地　久　人
取締役監査等委員（社外）	泉　本　哲　彌
取締役監査等委員（社外）	七　山　聖　學
執行役員	元　木　雄　三
執行役員	Brian Dutton

株主優待のご案内

株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を実施しております。

制度の概要

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式200株（2単元）以上保有の株主様を対象としております。

株主優待の内容

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された株式数に応じてクオカードを贈呈しております。

保有株式数	優待内容
200株以上2,000株未満	当社オリジナルクオカード　1,000円
2,000株以上	当社オリジナルクオカード　3,000円

贈呈の時期

毎年3月下旬、定時株主総会後書類に同封してお送りしております。

クオカードについて

当社グループのエアモンテ株式会社で販売しております「MONTURA」（イタリア製スポーツアパレル）のオリジナルデザインとなっております。

ホームページのご案内

当社最新情報を下記ホームページに掲載しております。

https://www.kuriyama-holdings.com

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会…12月31日 剰余金の配当…期末 12月31日　中間 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120－094－777（通話料無料）
上場金融商品取引所	東京証券取引所　市場第2部
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載します。 （公告掲載URL https://www.kuriyama-holdings.com）
証券コード	3355

UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

証券コード　3355

KURIYAMA REPORT

第81期 2020.1/1 ▶ 2020.12/31

KURIYAMA
クリヤマホールディングス株式会社

2020年12月期　決算ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当金
499億53百万円	28億98百万円	33億19百万円	14億44百万円	21円
前期比 9.4%減	前期比 6.9%減	前期比 4.5%増	前期比 28.8%減	前期比 1円増

※当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年の1株当たり配当金は分割後の配当金額を記載しております。

2021年12月期　業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当金
520億円	28億円	30億円	17億円	21円
前期比 4.1%増	前期比 3.4%減	前期比 9.6%減	前期比 17.7%増	前期と同額を維持

詳細は、当社ホームページに掲載されている「投資家情報」をご覧ください。
https://www.kuriyama-holdings.com/ir.html

ごあいさつ　TOP MESSAGE

持続可能な社会づくりに貢献する企業グループを目指して

クリヤマホールディングス株式会社
代表取締役CEO　能勢 広宣

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、治療や感染予防にご尽力されておられる方々に感謝と尊敬の意を表します。

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大による景気後退から、第2四半期連結会計期間においては、第一波感染拡大ピークアウトを迎え徐々に回復しつつありました。しかし第4四半期連結会計期間において、米国、英国での感染再拡大を受け、多くの国が経済活動の再開を遅らせ、一部の国と地域においては国民を感染から守るために再び都市封鎖を実施したため、世界経済の回復はパンデミック以前の活動水準に及ばない状態が続きました。

我が国では、感染拡大防止に配慮しつつ、経済活動の再開が段階的に進められたことで、景気持ち直しの動きも見られましたが、第3四半期連結会計期間以降は感染の再拡大を受けて経済活動への制限が強まり、景気回復は大幅にペースダウンしました。

当社グループでは、早期に導入していたテレワーク、時差出勤をはじめ、オフィス内における入退室時の検温、消毒液の設置、パーテーションの配備をはじめ、徹底した対策をおこないました。これらに加え、顧客および社内とのオンラインミーティングをはじめとした各種業務を円滑に進めるための環境整備を行い、感染の再拡大による事業への影響を最小限に止めながら生産性を落とすことなく顧客要求への対応を継続しました。また、「日本の建機・農機のグローバルTier1サプライヤーとしての地位を確立する」「産業用総合ホースメーカーとして品質と信頼のNo.1ブランドを目指す」「現地生産・現地販売を推進し、各国の経済発展に貢献する」という事業戦略を掲げ、グローバル展開を推進したことで、アジア事業の業績はオリジナル製品の利益率改善と不要不急の経費削減により利益面では堅調に推移しました。しかし、北米事業及び欧州事業の業績は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、売上及び利益共に苦戦を強いられました。

これらの結果、当連結会計年度における連結売上高は499億53百万円（前期比9.4％減）、営業利益は28億98百万円（前期比6.9%減）、経常利益は33億19百万円（前期比4.5%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失を10億64百万円計上したことにより、14億44百万円（前期比28.8%減）となりました。

セグメントのご紹介

アジア事業

売上高　（単位：百万円）　前期比 9.0%減
28,254　25,710
2019年（第80期）　2020年（第81期）

営業利益　（単位：百万円）　前期比 5.0%増
2,729　2,866
2019年（第80期）　2020年（第81期）

事業のご紹介

アジア中核事業会社のクリヤマ㈱が、9社の子会社、関連会社との強靭な連携により多角的に事業を展開しております。
産業資材、建設・スポーツ床材、スポーツアパレル等、独自の事業セグメントを形成することで、技術と品質のさらなる向上と革新を目指しております。

当期の概況

- 産業資材事業における建機・農機向け販売が業績伸長に寄与
- 大型商業施設等の設備投資が低迷したことでスポーツ・建設資材事業の販売が減少

北米事業

売上高　（単位：百万円）　前期比 8.1%減
23,297　21,410
2019年（第80期）　2020年（第81期）

営業利益　（単位：百万円）　前期比 19.1%減
1,409　1,140
2019年（第80期）　2020年（第81期）

事業のご紹介

産業用ホースメーカーとして様々な用途に対応する各種ホース及び継手を取り揃えております。北米・中米の各地に生産工場、販売拠点、倉庫を配置し、製販・物流の一貫したサービスにより様々な業種向けにホースを提供しております。

当期の概況

- 社会生活を営むうえで必要な事業（Essential Business）として生産・販売を継続
- DIY需要により住宅外壁塗装用の「ペイントスプレーホース」、屋外プール用の「Spaホース」などの一般家庭向け販売が好調に推移し業績に寄与

欧州事業

売上高　（単位：百万円）　前期比 20.9%減
3,579　2,832
2019年（第80期）　2020年（第81期）

営業損失　（単位：百万円）　前年同期は2億20百万円の営業損失
△220　△213
2019年（第80期）　2020年（第81期）

事業のご紹介

ゴム及びウレタン製のレイフラットホース・ノズルのメーカーとして、生産工場をスペイン・アルゼンチンに配備しております。販路を欧州、中東、南アフリカ、南米と大きく展開しております。

当期の概況

- 消防機関向け、灌漑を含む農業分野向けのホース販売は持ち直しの傾向
- 新型コロナウイルス感染症拡大による市況及び受注の低迷や足元の経済状況を鑑みて、固定資産を回収可能価額まで減額し、減損損失7億86百万円を計上

TOPICS

1 クリヤマビルディング竣工

大阪市淀川区西中島の旧本社跡地に新社屋「クリヤマビルディング」が竣工し、クリヤマ（株）新大阪支社を開設いたしました。新大阪支社には、本社（大阪市中央区）より一部組織（スポーツ・建設資材営業部、工務・技術部、商品開発部）と、クリヤマ株式会社の子会社（エアモンテ（株）、クリヤマプリージア（株））が移転しました。国内ビジネスの新拠点として次世代を見据えた事業展開および商品開発を推進してまいります。

2 MONTURA OSAKA

エアモンテ（株）が展開する「MONTURA」（イタリア製スポーツアパレルブランド）の旗艦店「MONTURA OSAKA」がクリヤマビルディングの1階にオープンいたしました。東京・大阪に旗艦店を配しての販売強化に加え、SNSをはじめとした広告宣伝による販売促進活動とEコマース運営体制の充実によるオンライン販売の拡充を積極的に推進してまいります。

3 ARMORED TEXTILE, INC.（ATI）社の吸収合併

2020年4月をもちまして、欧州事業の非連結子会社であったArmored Textile, Inc.(ATI)をKuriyama of America, Inc.(KOA)に吸収合併いたしました。ATIは当社の欧州中核事業会社であるKuriyama Europe Cooperatief U.A.の子会社として、消防用ホース・ノズルをスペインから輸入し、米国のニューハンプシャー州より米国市場へ販売しておりました。KOAがATIを吸収合併することで、北米事業とのシナジー効果を加速させ、米国市場におけるシェア拡大を図ってまいります。